

メディアさんの仕事は、戦争を終わらせること

ピープルズワールド

2022年12月19日

<https://www.peoplesworld.org/article/anti-war-leader-and-codepink-co-founder-medea-benjamin-discusses-new-book-on-ukraine/>



リード

2022年12月18日、フェミニスト反戦団体 CODEPINK の共同創設者であるメディア・ベンジャミン（以下 MB）はピープルズワールドと会談した。

会談ではニコラス・デイヴィスと共著の新刊『ウクライナ戦争：争いは無意味だと気づくこと』について議論しました。

彼女は、平和のためにさまざまな闘いをつなげ、米国で市民自身の反戦運動を構築することが不可欠であると語りました。

本文

司会：

「ウクライナ戦争：争いは無意味だと気づくこと」の発行はどのような流れなのか。

「Making Sense of a Senseless Conflict」のプロジェクトはどのように始まったのでしょうか。

この悲惨な戦争に対するあなたの見解を、述べようと思ったのはなぜでしょう。

それは、主流メディアの言い分、「ウクライナの主権を守るために米国の資金がもっと必要だ」というのとは違っていますか？

MB:

ニコラス・デイヴィスは私の同志です。彼と私は、ロシアが侵攻する前からウクライナについて書いてきました。2014年のマイダン蜂起、その後のNATOの拡大や米国の関与などの背景は知っていましたが、ロシアの侵攻を予測できたわけではありません。

ロシアが侵攻した後、なぜこのような事態になったのかを改めて考えてみました。ロシアが2021年12月に出した提案が、なぜ西側諸国によってあっさり無視され、退けられたのかを理解するためです。

戦争が始まってしまったからの叙述になってしまうと、主要メディアで語られるように、そのシナリオはとりとめのものになってしまうからです。

私たちは、過去の戦争から学んできて、いったん戦争が始まると情報合戦が始まり、プロパガンダ戦争になってしまうことを知っています。その結果、白か黒かの大本営発表になってしまうのです。

この本は、まずロシアによる侵略を非難しています。その一方で、ウクライナ問題が全面的な戦争に発展してしまったのかを考えています。そして、米・

NATO が戦争を挑発し政治的対処を拒否するというシナリオがあったことに気づきました。

その上で、戦争のほんとうの背景を明らかにすることが重要であると考えたのです。

司会：

この出版物のための 2022 年のブックツアーを終えたところですが、反響はいかがでしたか？

このツアーによって、壊された戦争についての対話が再開されたとお感じになりましたか？

MB:

毎回、場所や観客によって異なるイベントが開催されています。集会だけでなく国会議員の事務所訪問、新聞の論説委員会訪問など、議論を喚起するための行動もあります。

戦争は、確かに非常に論争的な問題であり続けています。

私が感じたのは、人々は議論に飢えていて、新しい視点を得て帰っていくことが多いということです。

しかし、私にとって最も重要なことは、正義派と平和派が分かりあうことではありません。それだけではなく、停戦と交渉の呼びかけをもっと目に見える形にすることであり、そのための組織化の課題です。そのためにさまざまなグループと話し合っているのです。

本の売れ行きがすごいこともわかりました。

出版会の主流に認めてもらったわけでもなく、買ったままゴミ箱送りになったわけでもありません。それでも、売れ行きはとてもいいんです。

きっと友人や親戚のために買ってくれているのでしょう。そして話し合うときに、自分の主張を補強してくれるからでしょう。

18 分間のビデオも作成され、大学のキャンパスでたくさん使われています。ハウスパーティーや教会でも上映されています。

司会：

この本がさまざまな団体を結びつけているというお話もありましたね。

そのひとつに、全米長老評議会が、信仰に基づくコミュニティのリーダーたちに "クリスマス休戦" を呼びかけるキャンペーンを行いました。このキャンペーンはどのようにして実現したのでしょうか。なぜこのような団体の支援を受けることがだいじなのでしょう。

MB:

「ウィスコンシン対話推進部隊」というグループと共催したことがあります。

彼らは、第一次世界大戦中の 1914 年に起こった「クリスマス休戦」について、話の材料を提供してくれました。そして背景説明のために追加資料を作ってくれました。

その後、私たちは「和解の友」というグループと話し合い、一致しました。コードピンクと「和解の友」とのイニシアティブに全米長老評議会が加わりました。

私たちは、「戦争を道徳的な観点でとらえることが重要だ」と考えていました。つまり「共通善」というものに関心を集中させることです。「共通善」を抱く人々の義務は、戦争を終わらせることであって、戦争を煽ることではないのです。

当初は、信仰に基づくリーダーを 100 人集めることができれば、大きな成果だと考えていました。しかし、今では 1,000 人を超えました。

私たちはこれからも前進し続け、より多くの信仰指導者に「停戦交渉の呼びかけ」に署名してもらおうつもりです。

ホワイトハウスへの働きかけも考えています。彼らの多くはホワイトハウスに出入りしており、ホワイトハウスの人々と接触しています。そこで祈りの朝食に参加したこともあります。

そこで彼らはホワイトハウスの様々な機関と会合を持ち、嘆願書を持参し、戦争について話すようお願いしています。

私たちはそのことに興奮していますが、他の有権者にも手を差し伸べる同様の取り組みが必要です。それは環境保護団体、労働運動、女性団体、青年団などです。

司会：

そうですね、結局はこれらの問題はつながっているのですね。

生活共同体の資金が不足しているのに、戦争のための予算が際限なく増えていくのはなぜでしょうか。考えなければなりません。

そのためにも考えなければならぬのですが、どうすれば米国で本物の大規模な反戦運動を構築できるのでしょうか？

MB:

私たちの動きは目に見えるようにしなければなりません。集会が必要です。1月14日にニューヨークや他の場所でデモが招集されています。

ますます多くの資金を投入することに賛成している国会議員の事務所の前で、集会を開くべきです。



この戦争に

公共の場で「ウクライナの話をして」と看板を掲げて、人と会話を交わすことが必要です。

いろいろな組織に対して、ウクライナ問題に対する立場を表明し、署名してもらう必要があります。そのために「決議案」のひな形を提出すべきです。

主要なメディアにも戦争一本槍でなく、平和と和解の視点を提供するように働きかけるキャンペーンも必要です。

これらはすべて、もやもやをふっきり、意識をたかめるための行動です。そして米国の政策について決定を下すことのできる人々に圧力をかけるための行動なのです。

現在すでに、集会や行動が提起され、動員の呼びかけがなされています。CODEPINKを始めとする女性グループは、3月8日の国際女性デーにむけて動員をかけ、ヨーロッパ、日本、中国、韓国、台湾の仲間たちと協力し合いたいと考えています。

そして、ロシアを含むヨーロッパの仲間たちと一緒に、この戦争に対する国際的な反対運動を盛り上げようとしています。

司会：

2023年に向けて、この運動を地域的、全国的に構築するために、どのような取り組みを考えていますか？

MB:

ウクライナの戦争と関連して、気候問題や環境破壊とに取り組んでいます。これらはとても深いつながりがあると思います。

戦争そのものが環境を破壊するのか、核戦争の危険、原子力発電所による核汚染の可能性などが考えられます。

私たちは、全国規模だけでなく、地域でもつながりを構築する機会がたくさんあると思うのです。たとえば、私はちょうどサンディエゴで本の講演をしたのですが、講演の前に環境保護団体がコーナーを設けて、関連する資料を配布していました。

講演では、環境問題との関連や、環境保護団体にもっと参加してもらうために何ができるかが話題になりました。

環境保護団体では、多くの有色の活動家がありました。これは来年の私たちの新たな活動の焦点になりそうです。

司会:

異なるグループが共通の利益を見出し、集団で戦うということですね。

MB:

そう、一緒に行動を起こし、一緒に議会事務所を訪問するのです。

また、大規模な環境保護の連絡会議を立ち上げて、手紙や論説を普及することです。

私たちが繋がりを求める活動を行うことで、できることがたくさんあります。



議会への要請行動（よく見えないけどイエレン議員？）

この戦争は、世界中の好戦思想と軍国主義に拍車をかけています。米国内だけでなく、ヨーロッパ諸国も国の富を武器に費やすようになり、その分だけ資金が吸い上げられています。

社会的セーフティネット、国民医療制度、大学教育の無償化などを維持するのが非常に難しくなっています。

ヨーロッパ諸国はますます私たちのようになっています。毎年1兆円近くを軍国主義につぎ込んでいる米国のように。

この戦争はウクライナの人々に影響を与え、多くの死と痛みをもたらしただけではありません。それは、私たち全員を間違った方向に導いています。彼らは、資源をどこに投入するかという点で、明らかに間違っています。

そのことで私たちに迷惑をかけています。

この戦争は、世界中の貧しい人々に影響を与えています。

ウクライナやロシアから入ってくる穀物の値段が上がっているため、飢餓線が大きく持ち上げられています。

そしてエネルギー市場の混乱からインフレのレベルも引き上げられています。

つまり、ウクライナ人とロシア人、双方の兵士を別にすれば、ウクライナ戦争で最も傷つくのは、世界中のはたらく人々と貧しい人々なのです。

【鈴木頌さんのブログから転載】